

商 況

販賣旬報 第100號 昭和4年7月22日

旬報第百號に題す 立石信耶

大正15年5月27日初號發刊以來號を重ねること正に100、顧ふに過去3年間の鐵鋼界は極めて多事多難、昭和の初めに於て100圓内外の鐵價は下落に續くに下落を以てし84圓の聲を聞くに至り、遂に生産費以下に墜落せんとするに至り或る一部に於ては吾等の販賣方針に對し怨嗟の聲を放つもの少からざるに至れり。其れにも拘らず吾販賣部は當初聲明したる外注追隨主義の城壁を固守して下らず倦くまで外注價格の下値を以て需要家に對したるが爲め内主外従の傾向は著しく涵養せられ製鐵所を初め各製造家の製品は水の流るゝが如く市場に供給せられ全然ストックを抱容するの必要なきに至りたる時、たまたま歐州鐵鋼界は漸く回復の途に向ひ昨年の如きは實に製鐵業を以て事業界の花形役者たりしむるに至り轉た感慨を深ふるものありき。然し乍ら昨年の鐵價は100圓内外にして大正14、5年頃と比較して何等の變りなきなり。而も大正14、5年頃の製鐵業は事業界の花形役者たりしや否や、否な寧ろ悲況時代なりと云ふを適當とすべし、同じく100圓内外の鐵價を維持する時代にして一は花形役者となりしに拘らず一は下廻り役者たるに甘せざるを得ざりしは如何、那邊に其原因の伏在するか。曰く、外注追隨主義、曰く、内主外従主義曰く、製品の單純化、曰く、製鋼分野の成立、曰く共販組合の成立等々、茲に反覆語るの必要なし。旬報1號乃至100號を精讀含味せば自ら氷解すべきを信して疑はず茲に100號發刊に當り旬報を我鐵鋼界に推奨する所以なり。

製鐵所の數年の回顧 人在つて九州の一角に八幡の地を訪ふあらば、灼熱の焔の空に映じて、全市悉く眞紅に染つた有様を見て、一驚を喫するであらう。此ぞ鐵鋼自給の旗印勇しく數千度の高熱に耐えて雄々しくも活躍する2萬に餘る職工の戦場であり、又我等の求むる鐵鋼の一大供給地でもある。其處から流れ出る100萬噸の鋼材は汽車や汽船に託されて、我國の到る處に送られ或は軍艦に或は汽船に或は鐵道に或は堂々たる建築に又小にしては機械に器具に、さては罐詰に迄化けて現代の華々しい文明を形造つてゐる。其昔年産9萬噸の生産に生聲擧げた當時を回想すれば轉た今昔の感に耐えぬものがあるではないか。然し其の蔭には幾多の尊い努力と辛苦が潜んでゐることを忘れてはならない。外には外品の滔々たる浸入に會ひ、内には生産費の割高と屢々見舞はれた鐵價の慘落に惱まされて、歐洲大戰の異例を除いては創業當時の損失は勿論、其の他も概ね僅少な利益の計上に甘じ、所詮は軍事的工業としての所在をしか持たないかに考へられた。

然し憂愁の秋あれば又來福の春もある。斯る悲境に沈淪しながらも鐵鋼自給の理想に燃えて、幾度か工場を擴張して生産の増加を計ると共に、或は設備を改良し、或は製品の單純化を斷行し、或は技術の練磨、従業員の内率増進、原料製品の輸送運搬の改變、副産物の完全なる採集、工場の電化を圖る等、生産の合理化に原價の切下を企圖し、或は又民間諸工場と協力提携して我製鐵業全體の合理化を策し、或は鋼材の外註防遏に依つて内地市場の確保と平安に努める等多多方面に亘つて試みられた合理化運動の効果は今漸く酬ひられて、假令緩慢なる足取りにもせよ、採算關係は漸時良好に趨き昨年度には一躍1,500萬圓の利益を計上することが出來た。次に掲ぐる本所の利益決算表は實に我國製鐵業が過去に於て辿つた苦闘の縮圖であると共に、最近數年間に於ける其健實なる發展を物語るものである。

第一表 製鐵所利益決算表

年次/區分	鋼材生産高 噸	利益額 円	噸當利益額 円
大正7年	313,550	57,727,296	184.10
〃 8年	287,253	5,094,823	17.73
〃 9年	297,369	14,743	0.05
〃 10年	345,890	9,122	0.03
〃 11年	419,439	13,478	0.03
〃 12年	468,315	438,498	0.93
〃 13年	492,683	866,772	1.75
〃 14年	653,134	1,357,803	2.07
昭和元年	739,297	2,009,279	2.71
〃 2年	830,030	4,847,373	5.83
〃 3年	937,153	15,425,967	16.46

素より昨年度に於ける收獲の功績を擧げて生産の合理化に歸せしめることは過評に失するとの批難を免かれないのであらう。即ち世界鐵價の原動力たる歐大陸の趨勢は大戦以來の澎湃たる落潮の後昭和元、2年を其のドン底として、漸く反動氣勢を示し、3年上期を迎へるや漸時鐵價の上伸行はれ、再來年餘に亘つて保合状態を續け、時宛も軟弱なりし對外爲替と重複して、我國鋼材價格の上騰を促したからである。然し尙吾人は其功績の大半が製鐵業自體の改善の賜なりと信じて毫も疑はぬものである。次に掲ぐる鐵價指數表に於て昨

年の其より更に上位にある 2、3 年前の決算が遙かに僅少なる利益を計上してゐるに過ぎない事實は其の證左として充分であるだらう。

第二表 本邦鐵價指數表

大正 3 年	100.0	大正 15 年	129.2
" 12 年	182.9	昭和 2 年	123.1
" 13 年	157.3	" 3 年	131.7
" 14 年	150.0		

斯くして本所は長い苦闘の境涯より脱れて、今や收獲の秋を迎えたのである。而も其の收獲は爲替關係を考慮に入れない限り恐らく將來に於ても相當の確かさを以つて續けられるであらう。何故かならば、現に歐

洲工場間を縦横に貫く各種の國際協定は將來に向つて益々基礎を強固にしつゝある傾向あり、又大陸に於ける合理化運動も漸く一段落を告げて、生産原價も底を入れたに拘らず、彼等は決して餘裕ある利益を獲得してゐないと見られるからである。もとより其處には未だ爲さるべき多くの事柄が残されてある生産の合理化に更に大なる原價の削減を企圖すること其の一なり。製鐵工場相互の強力なる協定に依つて生産の調節と市價の維持を保つこと其の二なり。曰く、何。曰く何。市場には今尙 80 萬噸に餘る輸入鋼材の跡を見てゐるではないか。關稅てふ温室に育て上げられて兎も角も此迄發展した我國製鐵業に好き肥料を施して完全なる自立の彼岸にまで到達せしめるこそ我等の務であらねばならぬ。

6 月中大陸市況一保合 過般舉行された英國政戰の影響を受けて不振を續けてゐた對英取引もやゝ盛り返して上旬には相當の商内を見せたが、夏枯の不需要期と決算期の兩難に狭撃されて内外共兎角買滞り荷動は先月と大差なく、相場之に順應して二三の小浮動はあつたが大勢に於て保合の商状を持續した。然し其の保合の中にも底堅き氣配がほの見えてゐたことは見逃すことが出来ない、先に 200 萬噸の割當増加を決定した大陸粗鋼組合は 6 月 18 日開催せられた巴里の會合に於て更に 100 萬噸の増加を可決したが、之は從來難問の一として時には其の解散をさへ氣遣はれてゐた、割當率變更乃至罰金問題に對する解決策であること勿論であるが、夫と同時に大陸鐵鋼業が將來の市況に對し如何に樂觀の見解を把持してゐるかの證左でもある。もとより其の影響を將來に卜することは至難の事であるが、之の決定によつて新に生産の増加が行はれるのではなく、從來割當超過として罰金を科せられた部分が當然の範圍として認めらるるに過ぎないのであるから今後の弱氣材料として市場の軟化を促すことはあるまいと考へられる。

半製品市場 品不足に依然底堅くシートバーは 5-8-0 を賣唱へられてゐる。

製品市場 兎角氣遣氣迷であつた棒鋼も上旬漸く落着を見せ、メーカーの必至の努力酬ひられて昂進の氣配さへ示したが中旬に入るや夏枯の影響に需要減退し又々相場は軟弱に傾き下旬には 5-17-0、5-17-6 と新安値に沈淪した。

一方市場の花形として高値を續けてゐる工形は其後も依然底堅く山形と共に他品の軟弱をよそに需要の旺盛を誇つ

月日/品種	棒鋼	工形	大形小形	鋼板(%)	ピレット(2")	備考
6 月 5 日	5-19-0	5-9-6	6-6-9	5-4-9	5-7-9	てゐる。鋼板薄板も變らず殊に下旬に入
13 日	5-19-0	5-9-6	6-6-9	5-4-9	5-7-9	つては僅かながら上進をさへ試みた。プ
19 日	5-18-6	5-9-6	6-7-0	5-4-9	5-7-9	ラツセル鐵鋼取引所相場左の如し。
27 日	5-17-3	5-9-3	6-7-6	5-4-9	5-7-9	(f. o. b. アントワープ)

10 月渡先物協議會一棒鋼 3 圓下び 7 月 9 日大阪平和俱樂部に於て 10 月渡先物協議會を開く、買手側より提出せられたる外注値段、希望値段及當所の決定値段は次の通りである。

品名 / 區分	沖着値段	河岸着値段	希望	本年決定値段	備考
棒鋼	7-3-6	96.20	93	94	3 圓下び 尙同時に丸鋼エツストラ及鉞力二
小中型山形	7-0-0	94.27	92	94	1 圓下び 級品値引を下の通り改正した
大型山形	6-17-0	92.80	92	93	1 圓下び 丸鋼 12 耗 2 圓 從前通り
工形	6-16-0	92.28	92	92	据居 9 耗 11 耗 3 圓 從前より 1 圓
溝形(吋寸法)	7-1-6	95.16	95	95	1 圓下び 下び
" (耗寸法)	6-15-6	92.02	92	92	1 圓下び
鋼板 4.5 耗	7-14-6	101.94	102	102	1 圓下び
" 3.2 耗	7-19-0	104.29	104	104	2 圓下び 8 耗 4 圓 同上
" 2.3 耗	8-2-0	110.86	111	111	1 圓下び 6 耗 5 圓 從前より 2 圓
" 1.6 耗	8-4-6	112.16	112	112	2 圓下び 下び
線材	7-18-9	100.70	100	100	1 圓下び
鉞力 100 封度	1-0-4	11.54	11.50	11.60	10 錢下び 鉞力(先物) 2 級品 1 級品の 3 分
" 170 封度	1-17-2	21.62	21.00	21.30	10 錢下び 引、從前 4 分引
黑板 13 板	14-5-0	178.95	179	179	据居 外電其のものも多少の安氣に加へ

備考爲替 1/16-5/8

て新内閣の金解禁意気込により爲替日々に暴騰し邦貨換算輸入採算は著敷低落し再び内地メーカー苦艱の秋が来た観あり、乍然當所としては飽迄従來の外註追随主義を執り外電其儘の値段を主張し大部分は容れられたけれども山形及黑板に付ては之に漕ぎつける爲に幾回かの協議を要し丸角平に付ては問屋側内地市況加味の説を執て下らす遂に 94 圓に決した、實際爲替の成行や市場相場を標準とすれば止むを得ざる所と思ふ、唯鉄力丈は外註値段割安に拘らず市況は却て強持合である爲に僅に 10 錢宛の値引に止まり且つ二級品の割引率を 4 %より 3 %に減じ得た。

7 月中旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

港別 \ 品名	線 材			薄 板		鉄 力 板	
	B.W.G No. 5	其 他	計	上中旬計	0.7 耗以下	上中旬計	上中旬計
神 戸	1,927	631	2,558	5,467	540	1,295	999
大 阪	782	—	782	1,072	541	864	154
横 濱	1,696	240	1,936	3,333	665	1,298	841
計	4,405	871	5,276	9,862	1,746	3,457	1,994

備考 神戸自 7 月 8 日至 17 日、大阪自 7 月 9 日至 17 日、横濱自 7 月 7 日至 16 日

東西市況一軟化 内地經濟界緊縮の趨勢、海外軟調、爲替の躍進と三拍子揃つて、環境は日一日と悪化しつゝあるを以て市場は之に順應して總賣の形勢となり、氣勢不揚、東京は盆、大阪は祭月と荷動きを鈍らせる材料もあり、市況は至極氣乗薄の模様である。只型物類及鋼板は不相變相當の活躍を見せて居ると云はれて居る。

東京市況 丸鋼。ベース物は既に業に解禁相場を下廻つて居るに拘らず轉換の氣運處か減入つたまゝに推移して居る、聯合會調査に據つて見ても、東西問屋筋の手持は 5 月末の 38,146 吨に比し 6 月末は 30,429 吨と 7,700 餘吨の減少でありながら此鈍状にあるは畢竟するに「賣裁」の觀念が市場全般に充滿して居るのに原因して居ると見られて居る然し 6 月の民間生産は協定の威力を發揮して約 17,000 吨と云ふ前月より 2 割以上の減産をしたので、此趨勢が變らなければ遠からず回復の緒に就くのではあるまいかと見て居る筋もある。2" が此 2、3 日頭を上げ初めた模様である。

角、平鋼。角は未だに崩れず、平は大體此邊が底と見て居る筋が多い様である。

型鋼。等山は値段の變化は殆んど認められず、中型は腐つたまゝ大形は好調に落付いて居る、不等山は稍軟調裡に不變、只 3×5 と 3½×5 は近き將來に於て民間にて製造に着手するとの聲を聞いただけで早や逃げ腰のものをチラホラと見受くる様になつた。溝の花形 2×4 は入荷氣構にて一舉に下放れ、3½×12 は未だに氣を吐いて居る、工に於ては前旬來漸騰氣勢にあつた ½×6×12 は一舉 16 圓と上放れ、6×10 又 14 圓と硬化し、5×10 は益々好調に持躰されて居る。

鋼板。未だ峠を下らず、他鋼材を眼下に見下ろして獨り活躍を擅にして居る觀がある、此氣勢に乗じての外注は禁物である細丸の二の舞は嚴に戒むべきである。

大阪市況一丸鋼。上旬は幾分好調裡にスタートし政變直後も東京に比し落ち付き模様なりしも大勢支ふることを得ず前途不況見越人氣に復又軟弱氣迷となり遂に 10 錢方の引緩みを見せた。

角、平鋼。好調を續けた角の内て 16m/m, 22, 25, は最近伸鐵品の採算圏内に入り弗々其入荷を見て居る。65m/m 以上のものは當所品の僅少の出廻りで早天に慈雨を得た様に活潑に取引されてゐる。平は比較的よく賣れる、1"-2" 幅のものは荷問への爲原價喰込みの慘状を呈して居るが、追々回復するものと見られて居る、之れは一時懸念されて居た民間製造が未だ實現せられざる爲幾分此不安から脱れた爲の様である。

型鋼。中型山形は漸く在庫減少の曙光を認められた様子で、大形及不等山は當所品出廻りよく幾分引弛みの感がある、溝形は依然形勢良好なる時期が時期として假需要を喚起する程でもない故表面は靜穩な状態を保つて居る。工形は閑散ながらも堅調を失はず在庫數量また漸減の一路を辿つて居る。

鋼板。32m/m ものは當所品の出廻りよく緩和せられ 4.5 6.0 は今尙拂底の爲亂高下を演じて居る、

外 國 爲 替 市 中 相 場

區分 / 月日	July. 9	10	11	12	13	15	16	17	18	19
日 英	¼-⅓	¼-¾	¼-⅓	¼-⅓	"	"	¼-½	¼-10/32	¼-¾	¼-17/16
日 米	44-¾	45-0	45-¼	45-⅓	"	"	45-½	45-⅓	46-0	45-⅞
日 佛	11.40	11.45	11.50	"	"	"	"	11.55	11.60	"
備 考	日佛のみ正金建値。									

東京 大阪 市中相場

{東京 7月17日
大阪 7月15日

丸	鋼		m/m/m/m	東京	大阪	鋼	板	
	東京	大阪					東京	大阪
9m/m	9-90	9-80	9×75×75	9-30	9-20	1.6m/m×3'×6'	14-30	14-00
9	9-60	9-70	9×130×130	9-70	9-80	1.6×4×8	11-60	11-70
12	"	9-60	12×130×130	9-80	10-10	3.2×4×8	14-00	12-40
19	9-30	9-30	15×150×150	9-90	10-10	3.2×5×10	12-50	12-50
25	"	"				6.0×4×8	13-50	12-60
50	10-30	11-00	不等邊山形鋼			6.0×5×10	"	12-50
65	10-20	10-90	3/8"×2"×3"	10-10	9-60	9.0×4×8	11-20	11-30
			3/8"×3"×4"	9-45	9-70	9.0×5×10	"	11-00
			3/8"×3 1/2"×5"	9-90	10-40	薄鋼板(13板)		
			3/8"×4"×6"	9-80	10-00	米	72	71
			1/2"×4"×6"	"	9-80	英	710	697.5
						八幡	705	695
9m/w	10-70	9-90	溝形鋼			鉾力板		
12	10-60	10-20	1/4"×2"×4"	14-00	16-00	米 {170 ^{lbs}	23-20	23-50
15	10-90	"	0.312×2 1/2"×5"	9-80	9-90	{100	12-70	12-50
19	10-80	11-00	3/8"×3"×6"	10-50	10-90	英 {170	22-50	21-80
38	10-60	10-10	3/8"×3"×8"	10-00	10-40	{100	12-10	12-00
			3/8"×3 1/2"×10"	11-40	11-70	八幡 {170	22-70	22-20
			3/8"×3 1/2"×12"	16-00	14-00	{100	12-10	12-30
			工形鋼			線材		
1/4"×1 1/2"	9-80	9-40	1/4"×3"×6"	9-60	9-30	No. 5#	101	96-00
1/4"×2"	"	"	3/8"×6×12	12-00	12-50			
1/4"×3"	"	9-70	0.28×4×8	9-40	9-30			
3/8"×4"	9-90	10-20	0.35×5×12	12-00	11-50			
1/2"×4"	"	11-10	0.36"×5"×10"	11-50	11-00			
			等邊山形鋼					
m/m/m/m								
6×50×50	9-60	10-00						
6×65×65	9-35	9-20						

備考、單位 100 噸につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鉾力板は 1 箱當り。

昭和 4 年 6 月 當所製品揚地別發送高表 單位噸

品名	揚地別 區分	神阪 地方	京濱 地方	當 所 渡	伊勢灣 東海道 地方	山陰 北陸 地方	内海沿 岸四國 地方	奧羽 地方	關門 九州 地方	北海道 樺太地 方	滿鮮 關東州 地方	支那 臺灣	臺 灣 他	合 計
鋼 材	官廳向	9,807	7,002	79	3	385	775	485	1,845	2,422	1,795	—	1,480	26,078
	民間向	27,525	17,189	5,780	2,194	—	26	159	981	110	100	—	—	54,064
	計	37,332	24,191	5,859	2,197	385	801	644	2,826	2,532	1,895	—	1,480	80,142
鋼片及鋼塊		456	1,944	2,789	—	—	69	—	3,680	—	—	—	—	8,938
副 製 品		74	809	13,248	130	—	2,428	—	5,258	—	—	—	—	21,947
合 計		37,862	26,944	21,896	2,327	385	3,298	644	11,764	2,532	1,895	—	1,480	111,027

昭和 4 年 5 月 中民間棒鋼生產高表 單位噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸		鋼		角		鋼		平		鋼	
1/4"	129	7/8	4,391	2	146	3/8"	1,328	7/8"	51	3 3/8-4	73
5/8	1,585	1	5,629	2 1/4	148	2	109	1	120	4 1/4-5	13
7/16	4	1 1/8	813	2 3/8	10	2 1/4	4	1 1/8	2	5 超	58
1/2	3,061	1 1/4	973	2 1/2	51	2 1/2	99	1 1/4	129	其他	26
3/8	8	1 1/2	30	2 3/4	11	3	205	1 1/2	34	計	1,795
5/8	4,876	1 3/8	448	3	3	3 1/2	11	1 3/4	4		
1 1/16	24	1 3/4	566	3 1/4	3	其他	45	2	458		
3/4	5,492	1 7/8	584	其他	608	淺野小倉	2 1/2	2 1/2	259		
1 3/16	41	2	584	1/4"-1/2"	1,839	其他	2 1/8-2 1/2	2 3/8-3	324		
		計	43	計	31,915	計	1,801	3 1/8-3 1/2	118	總計	35,511

販賣旬報 第101號 昭和4年8月1日

『佛蘭西鐵鋼組合と佛蘭西銑鐵組合』海外便り 第11便

一、販路の保持伸長と不當競争の防止とは世界を通じて試みられ、且的確なる成功を以て裏書せられたる工場經營法の要諦である。それは單なる販賣政策の問題としてではなく、工場作業の合理化を可能ならしむる第一前提として公認せられたる世界的公理である。斯かる見地から組織せられたる制度として、佛國內に見逃すべからざるものに次の2個の組合がある。

(一)、佛蘭西鐵鋼組合 (The Comptoir Sideringue de France) (二)、佛蘭西銑鐵組合 (The Comptoir des Fortes Hematites)

二、佛蘭西鐵鋼組合は同國鐵鋼界の中央政府である。國內統一機關と同時に對外交渉機關である。國內工場の全部を網羅して一のアウトサイダーの存在だに許さない。其の形式は會社組織であるがこれ實務上の便宜に基くものであつて、其の實質は組合員たる各社共同の利益以外に目的なきものたる點に於て、純然たる非營利組合である。之を獨乙の鐵鋼組合に比すれば其の取扱品目其他の内容に於て、彼れの包括的なるに對し此れの部分的なるの差は認めざるを得ぬけれども、其の限られたる目的の範圍内に於ては、團體としての結合も其の活動の實際も相當に徹底的なるものがあつて、間口の狭い割合には與行の深い點は見逃し得ざる處である。

三、狭い間口の第一部門は半製品及工形鋼の國內向販賣の管理である。此の2種品目に付ては、其の國內向取引の一切は凡て此の組合を経由すべきものとせられてある。組合自ら賣買の當事者となつて組合員たる各社の委託に基き外部に向つては組合たる會社の名に於て賣方の地位に立つのである。就中、半製品に關し組合員たる各社の中央機關として、其の組合員相互間の有無相通を司らしむると云ふことは、製品作業と半製品作業の分化獨立に對應する施設として吾等の感興を惹かざるを得ぬ點である。

四、第二は國際協定の目的とせられてある軌條及附屬品並に線材類の販賣管理である。此の品目に就ては國內販賣と輸出取引の双方に付き、一切此の組合を経由することゝ爲つてある。其の各組合品よりの包括的委託に基き組合自ら賣買關係の中に介入することは前項半製品等の場合と全然同一である。又此の組合は此の品目に關する國際協約の締盟當事者となり、割當の引受、値段の協定、其の他の對外交渉に任して全佛國を代表するのである。佛蘭西は I.R.M.A のリーダーである。就中、日本向輸出に付ては、沿革上、此の組合が最も關係が深い。日本向輸出に對する I.R.M.A の意見乃至態度の如きは多くの場合此の組合の原案が基礎となるやうである。此の點も特に注意の必要がある。

五、第三は對國際鋼塊組合との關係である。佛蘭西鐵鋼組合は此の國際組合に對する佛國の代表機關である。而して内に向つては國際協約の對内執行機關である。佛國の名に於て受けたる割當を國內の組合員に配分して其の實行を監理して行くのである。

六、此の組合の業務の範圍は以上を以て盡きて居る。しかも將來に於て、加えることあるべき國際協約上の品目増加、或は國內向販賣管理の擴張杯に付ては、一に以て此の組合の業務の伸長と言ふ形式に於てせらるゝであらう。此の組合は目下の處、國際鋼塊組合の協定に關する限りに於ては生産組合であるが其の他に付ては販賣組合である。半製品及型鋼に付ては國內販賣組合であり、軌條類線材類に付ては國內販賣兼輸出取引組合である。此の組合は其の取扱品目及其の活動の範圍を、可能と必要の最少限度に止めて居る點に特色を有つ。従つて其の間僅少の無理もない。獨乙の如き凡ての品目に亘り、生産と販賣と、國內向と輸出向との全般に亘つて統一管理するものに比して、はるかに「危なげ」がない。此の點も特筆するの價値があらう。

七、佛蘭西銑鐵組合は佛蘭西鐵鋼組合の別動隊とも見るべきものである。各種銑鐵の輸出管理組合である。銑鐵品目の全般に亘るが管理の内容は輸出だけに限られてある。非營利組合を本體とする會社組織なること。自ら賣買關係に介入して其の輸出一切をコントロールするものたること。其他組合の組織及活動の形式は軌條線材の輸出に關する佛蘭西組合の場合と全然同様である。(6月20日巴里に於て 鈴木參事)

10月積先物賣出概況—申込減少

一、賣出と引受。本月も前月同様先物のみにて定期を欠いて居る。猶第四型鋼が加つた、條鋼に就て賣出噸數を前月と比較すると一、二小形で500噸、二、三大形で700噸、第4型鋼で500噸の各増、二中形で300噸、一大形で500噸の各減、差引900噸の増を見た。然し市場の軟調は此數量さへ消化するを得ず結局賣出噸數より1,500噸

も少なく引受ける事になった、鋼板の賣出總數量は前月と殆んど變らず、鉄力は市場向 400 噸を増加し、黑板線材また殆んど變らず、引受も賣出噸數と同様である。

二、申込數量。條鋼は前月に比し各地方共減少の傾向を辿り合計に於てまたも約 4,000 噸の減少を見た、特に丸鋼に就ては市場の沈滞を映して全く意氣鎖沈の有様で、品種別に於ても全部減少であるが特に等山は殆んど半減の數量を現はした。鋼板も前月より約 2,000 噸減少したが工場別では一中板が増加して厚板及二中板が減少の跡を見せた。鉄力、黑板、及線材は前月と大同小異の申込である。

10 月 積 先 物 賣 行 概 況

引受噸數	工場名 先物賣出噸數	材線	内 譯							計	申込噸數	内 譯				
			600	1,500	2,000	600	500	500	500			1,700	7,900	東京	大阪	名古屋
條鋼の部	先物	丸鋼	73		555		385				1,013	1,057	469	415	120	71
		角鋼		244		151	278				682	702	240	345	70	47
		平鋼		402		783					1,185	1,263	315	784	80	84
		等山		302	227		50	120		610	1,309	1,584	710	850	15	9
		不等山				120	25		420	50	615	991	553	428	5	5
		溝形				5	192		400	569	1,166	1,919	551	1,322	39	7
	工形							20	431	451	746	303	433	5	5	
	先物計	73	948	782	1,059	939	120	840	1,660	6,421	8,262	3,141	4,577	316	228	
の部	定期	丸鋼			778		2,408				3,186					
		角鋼		538			246				784					
		平鋼			2,421				865		3,286					
		等山				387	607				—					
		不等山							2,204		3,198					
		溝形							1,091	2,050	3,141					
	工形							842	1,405	353	2,600					
	定期計		538	3,199	387	3,261		5,002	3,455	353	16,195					

鋼板の部								鉄力板の部			黑板の部		線材の部						
區分	工場名	先物賣出噸數	申込噸數	内 譯				引受噸數	區分	品種	市場向	實需向	賣出噸數	1,500	區分	品種	線材	製釘材	
				東京	大阪	名古屋	其他												賣出噸數
先物	厚板	600	2,958	804	1,504	385	265	600	賣出噸數	700	600	申込噸數	1,525	申込噸數	994	3,000	700	3,000	
	一中板	300	3,042	1,467	1,312	180	83	300	申込噸數	980	600								
	二中板	500	5,078	1,585	2,880	265	348	506	引受噸數	lbs 100	269								200
	先物計	1,400	11,078	3,856	5,696	830	696	1,400			lbs 170								403
定期	厚板(耳板)	(6,745)							引受噸數	oil cize	28	200	1,500	引受噸數	700	3,000	700	3,000	
	一中板	(784)																	
	二中板	784																	
	定期計	245																	計

備考 1. 條鋼定期は 2 種寸法定期數量(自 4 年 9 月至 5 年 2 月合計數量)。2. 鋼板定期括弧内は耳付板。

7 月下旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

港別	品名	B.W.G No. 5	線材		薄板		鉄力板		
			其他	計	7 月計	0.7 耗以下	7 月計	7 月計	
神大横	戸阪濱	2,085	728	2,813	8,280	616	1,911	521	2,060
		299	100	399	1,471	125	989	—	154
		150	121	274	3,597	211	1,509	951	2,936
		計	2,534	952	3,486	13,348	952	4,409	1,472

備考 神戸、大阪自 7 月 18 日至 27 日、横濱自 7 月 17 日至 25 日

製品目録に登載なき米突寸法物山形鋼單重に關する件 製品目録に登載なき米突寸法物の 1 呎又は 1 米突の重量は日本標準規格規定の斷面積に長さと比重を乘し以下第 4 位を四捨五入し 3 位に止めたるものとす。

但鐵の比重を 7.85 とし、1 呎を 30.48 釐とす。

(例) 工形鋼 $7^m/m \times 200^m/m \times 100^m/m$ は

斷面積 3306.1 平方釐 = 33.061 平方呎 1 呎の重量 = $33.061 \times 30.48 \times 7.85 = 7911.4973 \therefore 7.911$ 斤

1 米の重量 = $33.061 \times 100 \times 7.85 = 25.95$ 斤

山形鋼 $12^m/m \times 150^m/m \times 150^m/m$ **單重に關する件** 山形鋼 $12^m/m \times 150^m/m \times 150^m/m$ は斷面積 34.56 平方釐とす。

1 呎の重量 8.27 斤 1 米 " 27.13 "

東西市況 — 軟化 大體に於て前旬と變らず、荷動きの不振を啣たれて居るが、丸鋼を除けば、そう悲觀したものにあらず、東京方面の近頃見積りが出たもの、出でんとするもの主なるもののみを拾つて見ても中央郵便局の約 5,000 斤、日本劇場の約 4,000 斤、東武線淺草驛の約 8,000 斤、米國大使館の約 4,000 斤、日本麥酒吾妻工場の約 4,000 斤、等々合せて約 25,000 斤あり、これは鐵骨であるから、これに連れて鐵筋物も相當動くものと見られるが、丸鋼は海外復も軟勢を報じて地場の氣を悪くして居る模様である。

東京市況

丸鋼 問題の中心たるベース物の軟調未だ止まず、またも 10 錢搦みの下押しとなつた。細丸も同前、只太丸のみが駭りと云はれて居る。

角、平鋼 $12^m/m$ $15^m/m$ は當所品の入荷により小弛みを見せた外保合つて居る。平は 3' 4" が小締りと云はれて居る外は不變。

型鋼、中型等山を除けば波瀾合みて大形等山は思ふ程の上伸も見ず、不等山は此邊一服と見られて居る。溝は再び擡頭氣勢となり、 2×4 、 $3 \frac{1}{2} \times 12$ の強調は事故りた事ながら $2 \frac{1}{2} \times 5$ が西高に連れ一舉に 1 圓搦みの昂騰を呼び 3×6 3×8 品不足を氣構へて漸騰して居る、特に 3×9 は殆んど品切れに近き状態の爲め 13 圓と高價を吹いた。工形稍銳鋒を収めたとは云へ前旬來の花形 6×12 、 5×12 、 5×10 は益々好調を續けて居る、概して云へば型物類は特殊のものを除いては、爲替の昂騰も、緊縮の聲にも影響された形跡は全然認められず、寧ろ好調を辿つて居ると云はれて居る。

鋼板 $1.6 \times 3 \times 6$ が落着きとなれば、取つて代つて $2.3 \times 5 \times 10$ が 15 圓 50 錢、 $4.5 \times 3 \times 6$ が 16 圓と暴騰を演ずる等鋼板全般に未だ盛んに活躍を擅にして中々に峠を下るとも思はれない。

大阪市況

丸鋼 海外軟調に連れて氣配弱く、**角、平鋼**。總て變りなしと云ふ處なれども賣行不振の爲弱含み。**中型等山**は在庫漸減により目先よく、**大型等山**不變、其他の型物保合。**板**。は $\frac{1}{16} \times 3 \times 6$ 舶來品の入荷により緩和せられ 60 物昂騰氣勢と見られて居る。**薄板**。弱含み。**線材**。は投物一巡後聊か引き返し氣味なるも多量の在庫を擁して先行期待薄を報ぜられ。**鉄力**。品掠れにて強持合を續けて居る。

外國爲替市中相場

區分\月日	July 20	22	23	24	25	26	27	29	30	31
日 英	$\frac{1}{10} - \frac{1}{16}$	"	$\frac{1}{10} - \frac{2}{32}$	$\frac{1}{10} - \frac{13}{16}$	$\frac{1}{10} - \frac{2}{32}$	"	"	"	$\frac{1}{10} - \frac{7}{8} \frac{1}{10} - \frac{29}{32}$	
日 米	$45 - \frac{7}{8}$	"	$46 - \frac{3}{16}$	$46 - \frac{1}{8}$	$46 - \frac{3}{16}$	"	"	"	$46 - \frac{1}{4}$	$46 - \frac{3}{16}$
日 佛	11.60	"	"	"	"	11.65	"	"	"	11.75

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

{東京 7月28日
{大阪 7月25日

	丸 鋼		丸 鋼		丸 鋼			
	東京	大阪	m/m	東京	大阪	東京	大阪	
$6^m/m$	9.80	9.80	25	"	"	$9^m/m$	10.60	9.90
9	9.50	9.60	50	10.50	10.80	12	10.50	10.10
12	"	"	65	10.10	10.60	15	10.80	"
19	9.20	9.20		角	鋼	19	10.70	10.80

38	東京	大阪
	10:60	9:90
平鋼		
1/4" x 1 1/2"	9:70	9:40
1/4" x 2	"	"
1/4" x 3	9:80	9:70
3/8" x 4	9:90	10:00
1/2" x 4	9:80	10:50
等邊山形鋼		
m/m m/m m/m		
6 x 50 x 50	9:60	10:00
6 x 65 x 65	9:30	9:20
9 x 75 x 75	9:30	9:40
9 x 130 x 130	9:70	9:60
12 x 130 x 130	9:80	9:70
15 x 150 x 150	9:90	9:80
不等邊山形鋼		
3/8" x 2" x 3"	10:10	9:50
3/8" x 3 x 4	9:40	"
3/8" x 3 1/2 x 5	9:80	10:00

東京	大阪
9:70	9:70
溝形鋼	"
1/4" x 2" x 4"	14:00 16:00
0.312 x 2 1/2 x 5	10:80 10:00
3/8" x 3 x 6	" 11:00
3/8" x 3 x 8	10:30 10:40
3/8" x 3 1/2 x 10	11:50 11:50
3/8" x 3 1/2 x 12	16:00 13:50
工形鋼	
1/4" x 3" x 6"	9:60 9:30
3/8" x 6 x 12	12:50 13:00
0.28 x 4 x 8	9:40 9:40
0.35 x 5 x 12	12:50 12:50
工形鋼	
0.36 x 5" x 10"	12:00 11:50
鋼板	
1.6m/m x 3' x 6'	14:00 13:50
1.6 x 4 x 8	11:60 11:50

東京	大阪
13:00	12:20
12:00	12:00
14:00	12:80
13:00	13:00
11:20	11:40
11:00	11:00
薄鋼板(13枚)	
米	71 70
英	70 69
八幡	69 685
鋼力板	
{170lbs	23:20 22:50
{100	12:70 12:50
{170	22:50 21:80
{100	12:10 12:00
{170	22:70 22:00
{100	12:10 12:30
線材	
No. 5#	101 96:00

備考 單位 100 疋につき(置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和 4 年 6 月 棒鋼寸法別揚地別引渡高表

單位 噸

寸法	丸 鋼					角 鋼					合計							
	民間向普通鋼			官廳向及規格品並特殊鋼		民間向普通鋼			官廳向及規格品並特殊鋼									
	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚		其他	計					
5.5m/m	—	—	—	—	—	—	2	2	150	8	—	8	—	—	—	8		
6	193	60	72	325	—	—	4	4	178	1	—	1	—	—	—	1		
6.5	—	—	—	—	—	—	7	7	200	16	—	16	—	—	—	16		
7	—	—	—	—	—	—	2	2	9鋼計	2,258	3,325	455	6,038	162	8	978	1,148	7,186
7.5	—	—	—	—	—	—	2	2	12m/m	102	124	35	261	—	—	1	1	262
8.5	—	—	—	—	—	—	13	13	15	274	132	25	431	—	—	—	—	431
9	1,070	2,189	368	3,627	—	—	13	13	19	16	70	86	—	—	—	—	86	
9.5	—	—	—	—	—	—	2	2	22	40	36	76	—	—	—	—	76	
11	70	47	—	117	—	—	16	16	32	—	—	—	—	—	—	1	1	1
12	413	977	15	1,405	—	—	51	51	38	80	48	34	162	—	—	10	10	172
13	—	—	—	—	1	—	1	1	44	10	35	15	60	—	—	3	3	63
15	—	—	—	—	2	—	15	17	50	3	89	37	129	—	—	23	23	152
16	—	—	—	—	3	—	86	89	55	—	10	—	10	—	—	—	—	10
18	—	—	—	—	2	—	24	26	65	31	55	17	103	—	—	4	4	107
19	—	—	—	—	2	—	196	198	70	—	—	—	—	—	—	5	5	5
20	—	—	—	—	2	—	105	107	75	126	80	37	243	—	—	25	25	268
21	—	—	—	—	1	—	—	1	90	35	2	86	123	—	—	8	8	131
22	—	—	—	—	1	—	47	48	95	—	—	—	—	—	—	4	4	4
24	—	—	—	—	2	6	11	19	100	27	109	—	136	232	—	60	292	428
25	—	—	—	—	1	—	95	96	110	—	—	—	—	—	—	2	2	2
26	—	—	—	—	—	—	17	17	120	—	—	—	—	—	—	4	4	4
27	—	—	—	—	—	—	1	1	130	—	—	—	—	—	—	13	13	16
28	—	—	—	—	6	—	—	6	150	—	6	—	6	—	—	6	6	12
30	—	—	—	—	5	—	—	5	角鋼計	744	796	289	1,829	232	0	169	401	2,230
31	—	—	—	—	—	—	1	1	3/4"	269	262	74	605	—	—	—	—	605
32	—	—	—	—	2	—	20	22	7/8"	90	125	60	275	—	4	2	6	281
34	—	—	—	—	—	—	2	2	1	358	282	56	696	—	—	2	2	698
38	—	—	—	—	—	—	34	34	1 1/4"	29	153	10	192	—	—	3	3	195
40	—	—	—	—	—	—	28	28	1 1/2"	253	157	22	432	—	—	13	13	445
44	—	—	—	—	—	—	4	4	1 3/4"	2	—	—	2	—	—	16	16	18
46	—	—	—	—	—	—	2	2	2	113	110	—	223	—	—	22	22	245
50	65	—	—	65	—	—	24	24	2 1/8"	—	—	2	2	—	—	—	—	2
55	83	40	—	123	2	—	10	12	2 1/2"	84	63	52	199	—	—	28	28	227
60	37	—	—	37	—	—	14	14	2 3/4"	—	—	—	—	—	—	2	2	2
65	86	3	—	89	—	—	12	12	3	12	10	22	44	—	—	4	4	48
70	7	—	—	7	—	—	4	4	3 1/4"	5	—	—	5	—	—	2	2	7
75	51	5	—	56	—	—	1	1	3 1/2"	4	—	10	14	—	—	10	10	24
80	2	—	—	2	6	—	—	6	3 3/8"	12	9	—	21	—	—	—	—	21
85m/m	20	—	—	20	—	—	20	20	4	—	—	1	1	—	—	7	7	8
90	90	—	—	90	124	—	20	144	5	24	30	—	54	—	—	—	—	54
100	42	—	—	42	—	2	31	33	平鋼計	1,255	1,201	309	2,765	—	4	111	115	2,880
110	—	—	—	—	—	—	14	14	總計	4,257	5,321	1,053	10,632	394	12	1,258	1,664	12,296
115	1	2	—	3	—	—	8	8										
120	1	—	—	1	—	—	32	32										
125	2	2	—	4	—	—	2	2										
130	—	—	—	—	—	—	6	6										

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用は官廳向に含む

昭和 4 年 6 月中 當所 品種 寸法 別 生産 高表

單位、噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼/部		丸鋼		角鋼		型鋼/部		B.W.G.No.		寸法		噸數	寸法		噸數	寸法	
	9		3		3	等邊山形鋼		33		16	610	55	ユニバーサル平鋼		9		
	7		438		129	60mm		31		17	13	12			8		
	7.5		512		106	70		30		18	9	48	續		7		
	8		16		980	100		29		19	404	5	材		7.5		
	8.5		52		68	150		23		20	9	31	5.5m/m		11		
	9		332		779	計		Secret		22	96	8	7		11		
			41		85	不等邊山形鋼		7		25	194	9	8		10		
			3,375		3	計		0.5m/m		26	4	142	9		12		
			234		2,174	0.7m/m		計		28	1	78	9.5		12.7		
			1		2,174	0.8m/m		2		29	2	3	計		14		
			1,710		245	超鋼板		2		30	13	4	鋼板合計		14.5		
			12		17	0.8m/m		8		31	16	1	鋼板及附屬品/部		15.9		
			13		65	1		8		32	36	2	軌		16		
			14		65	1.2		8		33	31	2	條		16		
			14.5		115	1.5		78		35	31	2	13,245		17		
			15		545	1.6		1,020		36	36	2	12,952		18		
			16		642	1.8		3		38	38	5	3,077		19		
			17		551	2		410		40	27	6	728		20		
			18		26	2.3		3		45	22	4	1,032		21		
			19		2,206	2.4		3		50	51	12,856	鋼板合計		23		
			20		627	2.5		29		54	5	16,953	鋼板及附屬品/部		計		
			21		30	2.6		17		54	15,030	鋼板計	其他鋼材/部		計		
			22		177	3		159		1/8	15	15,030	鋼		計		
			23		35	3.175		4		1/8	6	15,030	普通鋼		計		
			24		8	3.2		4		1/8	6	15,030	特殊鋼		計		
			25		315	3.5		1,686		1/8	10	15,030	特殊鋼		計		
			26		54	4		36		1/8	10	15,030	特殊鋼		計		
			27		30	4.5		232		1/8	68	15,030	特殊鋼		計		
			28		60	4.8		1,103		1/8	15	15,030	特殊鋼		計		
			29		58	5		5		1/8	7	15,030	特殊鋼		計		
			30		90	4.76		7		1/8	3	15,030	特殊鋼		計		
			31		77	5		91		1/8	2	15,030	特殊鋼		計		
			32		4	5		28		1/8	1	15,030	特殊鋼		計		
			34		31	5.5		1,329		1/8	9	15,030	特殊鋼		計		
			35		74	6		15		1/8	5	15,030	特殊鋼		計		
			36		218	6.35		4		1/8	17	15,030	特殊鋼		計		
			55		38	6.4		2		1/8	9	15,030	特殊鋼		計		
			65		213	6.5		57		1/8	30	15,030	特殊鋼		計		
			75		240	7		509		1/8	23	15,030	特殊鋼		計		
			90		901	8		1,934		1/8	3	15,030	特殊鋼		計		
			105		2	9		105		1/8	3	15,030	特殊鋼		計		
			110		19	10		105		1/8	1	15,030	特殊鋼		計		
			115		10	11		98		1/8	1	15,030	特殊鋼		計		
			120		46	12		1,232		1/8	1	15,030	特殊鋼		計		
			125		235	13		67		1/8	1	15,030	特殊鋼		計		
			計		9,743	14		41		1/8	11	93	鋼板合計		計		
						15		10		1/8	9	93	鋼板及附屬品合計		計		
											11	24,172	鋼材總計		計		
											9	70,325					

販賣旬報 第102號 昭和4年8月12日

ベルギー及ルクセンブルクの鐵鋼統一機關(海外便り第12便)

1. 販賣管理の方法を以てする企業聯合の形式はルクセンブルグの場合に於て其の最も顯著なる適例を見る事が出来る。同國內に於ける各工場は他國の資本を以てせらるゝ若干を除くの外次の二大コンサーンに分屬せしめられてゐる

ARBED Group (The Acieries Reünies de Burbach-Eich-Düdelange)

TERRE Group (The Societe Metalurgique des Terrs Rounges)

此の二大コンサーンは對內的工場運用の統制及對外的歩調の合致を目的とし、其の製産品一切の販賣權を包括的に所謂 Columeta (The Comptoir Metalurgique Luxemburg) に一任した。此の故に所謂「コルメタ」は斯かる販賣管理權を通じて事實上の此二大コンサーンに屬する各工場の操業管理權を掌握し、外部に向つては全ルクセンブルグの各工場をして、一コルメタの蔭にかくれて、見えぬやうに仕組んだのである。斯くして、最も完全なる形式に於て國內統一機關たるコルメタは一面一切の國內國外の實際取引に當るの外、他面對外交渉の機關となつて、國際鋼塊組合、國際軌條組合及國際線材組合等の締盟當事者として全ルクセンブルグを代表するのである。

此の二大コンサーンに屬する各工場の生産高は、日本に於ける各工場全生産高の1倍半乃至2倍に相當する。斯かる巨大なる生産の全部が一販賣會社の管理の下に統一せられ、嚴然たる一大工業帝國として世界市場に重きを爲す壯觀は政治的弱少國に見るべくは、余りに感興深き存在と言はればならぬ。人口わづかに25萬人。鐵産年額250萬噸若き女王に依つて支配せらるゝ、山梨縣弱の一侯國の存在は、一コルメタの放つ光に依つてのみ廣き世界に認識せられつゝあるでは無いか。

2. ベルギーには國內を通じて相對立する2個の團體が存在する、第一はウグレー、マリエー會社(ougree marihaye)をリーダーとする一團であり。第二はプロビダンス會社(providence)をリーダーとし爾餘の國內群少工場を網羅した一團である。此の2個の團體も亦生産の統制と販賣の管理とを目標として、各別に、其の共同の利益を目的とする組合を組織した。

The Societe Commerciale de Belgique

The Comptoir des Acieries Belges.

前者はウグレー系團體の統一機關であり、後者はプロビダンス系團體の統一機關である。共に實務上の便宜から之を會社組織として居る。

前者は此の組合に屬する各工場製品の全部に亘つて其の國內向と輸出向とを問はず包括的に其の販賣を司るが後者は其の取扱品目を國際協定の目的となつて居る軌條類及線材類だけに局限してゐる。然しこの局限せられてある範圍内に於ては國內向と輸出向との區別なく一括して之を司るのである。而してこれ以外の品目に付ては各組合員會社の任意販賣に一任した點に於て前者と其の趣を異にして居る。しかも會社自ら賣買干係中に介入し、各組合員の委託に基き外部に向つては賣方としての責任を負担する點に於ては共に同様である。

最後に特筆すべきことは、前記ウグレー系團體の日本向輸出に付ては邦人小林某なるものが最近其の一手販賣權を掌握したことである。同人は從來から又 FBS 鋼管組合の日本向輸出一手販賣權の保有者でもあつた。日本人が日本市場に向つてする輸出の一手販賣に當ると言ふことは他の如何なる方法にも優る有効なやり方である。小林某個人の有利なる商業的立場以上にウグレー系組合の成功と言はればならぬ。國を擧げて外註防壓の國策に狂奔つゝある母國の鐵鋼界は、飽くことなく侵害し來る敵陣の第一線に、精銳なる武器をひつさげて立つ同胞の姿を見ればならぬとは何たる皮肉であらうか。同様の方法が各種品目に亘つて、各國に生じ來るべき豫想の下に之が對策を考究して置くことも、母國の鐵鋼界に残されたる重要事業の一つではあるまいか。(6月23日 於巴里 鈴木參事)

11月渡先物協議會——棒鋼90圓臺割れ 8月9日東京日本橋俱樂部に於て11月渡先物協議會を開く買手側より提出せられたる外注値段其他次の通りである。

品名/區分	沖着値段	河岸着値段	希望	本所決定値段	備考
棒 鋼	6-19-6	90-38	89	89	5圓下げ
小 中 型 山 形	6-17-0	89-15	88	89	5圓下げ
大 型 山 形	6-14-0	87-67	87	88	5圓下げ
工 形	6-14-0	87-67	88	87	5圓下げ
溝 形(吋寸法)	7- 2-6	91-87	92	92	3圓下げ

〃 (耗寸法)	6-12-0	86.68	87	87	5圓下げ
鋼板 4.5 耗	7-13-6	97.32	97	97	5圓下げ
〃 3.2 耗	7-18-0	99.55	100	100	4圓下げ
〃 2.3 耗	8-1-3	106.10	106	106	5圓下げ
〃 1.6 耗	8-2-9	106.90	107	107	5圓下げ
線材	7-11-6	91.41	91	91	9圓下げ
鉞力 100 封度	1-0-6	11.04	10.80	11.00	60錢下げ
〃 170 對度	1-17-2	19.97	19.70	20.00	1圓30錢下げ
黑板 13 枚	13-17-6	167.65	164	165	14圓下げ
爲替	1/4-1/8				

エキストラ改正 尙同時に平鋼及山形鋼エキストラを次記の通り改正した。

一、平鋼	3/4"×3/4", 1/4"×7/8"	3圓 従前より 1圓下げ
一、平鋼	3/8"×3/4", 1/2"×3/4", 3/8"×7/8", 1/2"×7/8"	2圓 同上
一、山形鋼	4m/m×45m/m 45m/m, 4m/m×50m/m×50m/m	3圓 同上

鉞力を除いてC、I、F 値段は前月に比し總て下値を示し加之爲替も前月より 4 ポイント高の 1/4-1/8 となりたる爲、總値下げとなつた、特に黑板は製品の賣行極度に下振なる上、東京方面は 11 月と云ふ不需要期に直面して居る爲、外注値段より 4 圓もの下値の希望があり決局前回より 14 圓下げと云ふ未曾有の暴落振りである、又線材も入電が前月よりも 7 志 3 片と云ふ下放れであつた爲一舉 9 圓の値下げとなつた。

棒鋼に就ては當所として 90 圓を主張したるも買手側は現在に於ける地場の軟調と爲替漸騰を氣構へ押目待にある實需要家筋の需要を喚起する爲所謂アク抜の意味より解禁相場をも加味して極力 89 圓を要望したるを以て、此際は寧ろ早く底入れしたる方が立直りも迅速なるべしとの事も考慮に入れ遂に昨年 7 月以來久方振りにて 90 圓臺割れを演ずるに至つた、また外注値段も昨年 5 月の 6-18-6 以來の新安値たる 6 磅臺を現出した。

7 月中主要鋼材三港輸入概観一平凡

品名\港	神戸	大阪	横濱	計	前月輸入數量	昭和 3 年 1 ヶ月平均
丸	643	643	1,364	2,650	3,045	3,184
角	230	58	284	572	377	423
平	428	511	835	1,774	1,298	1,281
等	山	366	169	483	681	1,380
不	等	山	5	117	104	226
溝	形	347	421	397	1,165	695
工	形	190	208	261	659	1,055
鋼板 (0.7 耗超)	1,558	1,132	1,557	4,247	2,024	3,466
〃 (0.7 耗以下)	2,013	989	2,312	5,314	6,017	16,780
鉞力	2,686	154	2,282	5,122	4,646	5,297
軌條	1,990	745	707	3,442	882	3,611
線材	8,738	1,472	3,123	13,333	17,710	12,703
シートパイル	73	—	1,648	1,721	2,115	1,743
鋼管	1,561	2,099	3,233	6,893	4,961	4,409
其他	1,152	167	1,003	2,322	2,561	2,150
計	21,980	8,885	19,593	50,458	49,201	58,405

總數量は前月と略同様で、また昭和 3 年の 1 ヶ月平均數量に比すれば内容は勿論違ふが總體としては 8,000 吨も少いのである、品種別に就て觀察すると市場に於ける歎きの的である丸鋼は 1 ヶ月としては尠ない様に見えるが 7 月迄の輸入が前年のそれに較べて已に 3 萬 5,000 吨以上も多いのから見れば、もつともつと減少してよい譯である。

型鋼中、工、溝は去年あれほど賣行不振を呼ばれ、持てあまし者だつたに係らず今年に相當の輸入を擁しながら此好調にあるのも皮肉な對稱である。

鋼板(0.7耗超)は今月あたりから漸増の傾向にあるのが目に映つて来る。鋼板(0.7耗以下)は如何に内地生産が増加したとは云へ輸入は前年に比し甚だしい減少振りなのに一路軟調を辿るは不思議の様であるが、一部投賣的の品物が市場に現はれたに加へ製品の著しい賣行の鈍いこと、金解禁及び9月以降入荷の相當纏つた數量の外注成立を氣構へての事が原因して居る様に云はれて居る。線材は平均しての1ヶ月分としては大した數量ではないが今迄の持ち越しを考慮に入れると多量と云ふことが出来る。要するに7月に於ける三港輸入は大體に於て平凡である。

中型等邊山形鋼生産協定の結果

豫て當所及日本鋼管、東海鋼業二社間に協定せられたる中型等邊山形鋼の生産調節は6月より實施せられたが6月中の結果と其以前とを比較すると右表の通りである、6月は當所の第4型鋼工場が休止したので此1ヶ月を以て將來を卜することは出来ぬが従前より非常な減産である、それかあらぬか西筋は今旬に入ると共に反撥氣勢となり東京方面も大體底入模様であると云はれて居る。

寸法	區分	自 1 月 至 5 月	1 ヶ月 平均	6 月
50	耗	6,517	1,303	1,159
60	耗	279	56	
65	耗	11,009	2,202	2,196
70	耗	182	36	
75	耗	18,506	3,701	1,051
90	耗	8,234	1,647	523
100	耗	3,797	759	1,192
	計	48,524	9,704	6,121

備考 一、製鐵所、日本鋼管及東海鋼業の生産高とす
二、6月は製鐵所西八幡工場故障の爲作業を休止せり

硫安とクレオソート油

一、硫安不振 最近硫安界は世界的に供給過剩に陥り、他物價に對して著しい下落振りを示した、戦前に於てすら133圓見當で賣捌かれた當所品の如きも、昭和3年度には123圓となり、現在では尙それ以下となつた。これは一般物價に於て見るも稀有な現象であつて、今試みに鐵價と比較せば下表の通りである。

鐵價硫安指數比較表

鐵價	硫安	考備 當所硫安價格 八幡年度別
大正3年 100	100	133圓
〃 4年 188	113	142〃
〃 5年 284	143	179〃
〃 6年 466	220	206〃
〃 7年 565	273	369〃
〃 8年 327	242	255〃
〃 9年 316	197	211〃
〃 10年 198	113	144〃
〃 11年 173	127	172〃
〃 12年 183	137	173〃
〃 13年 153	122	165〃
〃 14年 150	127	173〃
昭和元年 132	112	146〃
〃 2年 126	95	123〃
〃 3年 132	91	123〃

即ち鐵價は戦時中に比すれば非常な暴落であるが、昭和3年に於て尙132をなし戦前より高値にあるに硫安は91と下廻り、當所價格に於ては約10圓方の値下りである。

輸入數量の過大なること、常に投機の對照物として取扱はれること、合成肥料の漸増傾向、農村經濟の疲弊困憊、販賣機關統成の困難等弱氣材料充滿したる今日、時に氣節關係や商人の思惑に因り極部的に高氣配を生ずる外一般的には硫安價格の好轉は一才困難ではあるまいか。

二、クレオソート油再輸出 既報の今春來再び擡頭した輸出向クレオソート油大口需要は、當所の在庫狀態、輸送船、米國市價軟弱等の關係から久しく實現を見なかつたが、某大手筋の折衝宜しきを得て先月末本年度第一回輸出850噸の積出を爲し、需給調節の第一歩を踏み出した。最近の爲替回復米國相場の軟報は、得手に帆を揚げた昨年の輸出狀態に比すれば將來多少の曲折は止むを得ない所であらふが、本年末迄に尙二三回輸出斷行の事として既に夫々米國と商談中であるから、最近著しく活氣に乏しい内地市況も、昨秋同様再び荷薄となり漸次活氣を呈するであらう。因に本年度各月當所實生産高及び外部向受渡合計は下の如し。

月 別	實生産高	受 渡 高	比 較
4 月	1,024 噸	10 噸	△ 1,014 噸
5 月	1,306	1,109	△ 197
6 月	1,163	1,270	107
7 月	1,568	2,256	688
計	5,061	4,645	△ 416

備考 △は實生産高に比して受渡不足高

米突化及其他通報 一、不等邊山形鋼中次記は耗ロール完成したるを以て11、12月積引受の分より耗寸法を以て處理することに決定した。但し10×125×175、及び10×75×50は11、12月積だけは従前の通り寸法を以て引

受け其後の引受に對しては追つて決定する。

7 耗×125耗×75耗	第 2 種寸法	4 型鋼	6 耗×75耗×50耗	第 1 種寸法	第 1 中形
10耗× " × "	第 2 種寸法	"	8 耗× " × "	中間寸法	"
13耗× " × "	第 1 種寸法	"	10耗× " × "	第 1 種寸法	"

二、同時に次記時サイズのもの引受を廢した、

$\frac{1}{4}$ "×3"×2", $\frac{3}{8}$ "×3"×2", $\frac{1}{2}$ "×3"×2"
 300×5"×3", $\frac{3}{8}$ "×5"×3", 425×5"×3", $\frac{1}{2}$ "×5"×3"

三、鉄力板 100 lbs, の大判小判の割合を 7:3 より 6:4 に改む。

四、鉄力板二級品混入割合條項の改正、

【従前】一級品 50%、二級品 45%、三級品 5% とす、但し工場の実績により相當の増減あるも差支なし。

【改正】二級品 50%、三級品 5% の範圍内に於て混入差支なし。

五、等邊山形鋼 45m/m 及 50m/m の定尺改正

	舊	新
45m/m	20'~40'	18', 20', 25', 30', 20'~40'
60m/m	20'~40'	20', 25', 30', 36', 20'~40'

8 月上旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

港別\品名	線 材			薄 板 0.7 耗以下	鉄 力 板
	B. W. G No. 5	其 他	計		
神 戸	2,562	1,057	3,619	739	1,106
大 阪	502	—	502	652	—
横 濱	987	77	1,064	1,438	390
計	4,051	1,134	5,185	2,829	1,496

備考 神戸、自 7 月 28 日至 8 月 7 日、大阪自 7 月 28 日至 8 月 8 日、横濱自 7 月 27 日至 8 月 7 日

東西市況——目先弱し 暑さの酷しくなるに連れて、市場はますます閑散にはなるし、他方爲替の漸騰と、海外低調の壓迫に堪えず、當所 11 月渡先物値段の安値發表氣構えから一般の氣配軟弱となつた模様である。特に地方筋は理屈は抽きにして「金解禁」と云ふ聲に脅かされて極端な買控へをなす爲在庫は一段と手薄であるに係らず一向に買氣付かず殆んど其日暮しの有様に加へ、市中一般は「緊縮」に對する誇張されたる豫想から勢ひ賣り焦りの状態と云ふ兩々相俟つて益々軟勢を助長して居ると云はれて居る。

東京市況——丸鋼 最早在庫として東西共決して驚くべき數字は示して居らぬが、さなきだに爲替や緊縮と云ふ火に脅え切つて居る市場へ海外 6-19-6 など、云ふ弱氣材料の油を注がれる故益々減入り切つて前旬に比しベース物は 5 銭の下値を示すに至つた。

角、平鋼 角は未だ品薄の爲戻り、平は安保合を續けて居る。

型钢 中型等山は別項所載の如く當所及日本鋼管、東海鋼業の生産協定により 6 月に於て極端な生産減を見た爲在荷の消化につれ、漸く底を突いた模様で未だ反撥の氣勢を見るに至らないが此上の下押しはあるまいと見られて居る。不等山は割合に戻り、溝の好調は不變、總體に上伸氣勢と云はれて居る。工形も未だ衰へず、3×4 の 14、6 圓 6×14 の 12 圓 5、80 銭など特に光つて居る。また 3×5 は近來目立つて昂騰し 11 圓丁度と呼んで居る。

鋼板 一高一低目まぐるしき迄に變轉して活躍を繼續して居る、即ち前月一躍花形となつた 23 は稍落潮となつたに引き換へ 4.5 が俄然擡頭し 4×8 が 14 圓 50 銭、5×10 が 15 圓と上放れた。

大阪市況——丸鋼 不人氣は東西共不變、賣行も一向秒々しからず目先期待薄を傳へられて居る。

角、平鋼 16, 22, 25 は當所品の出廻りに幾分緩和され、90 は依然として 14 圓の高値である、平は取引は弗々ながら前旬よりはいくらか落ち付きを見て居る。

型钢 中型は俄然上放れ模様となつた、即ち今迄格安の最たりし 7.5 の一躍 9 圓 50 銭と云ふ反撥振りに端を發し其他昂騰氣配を見せて居る、大形等山、不等山共需要は引續き良好で一昨よりは稍下値と呼んで居るが相當活潑である、溝は益々騰勢を續け工は 3×6, 4×8 を除いては一齊に 11 圓臺を突破し百花瞭亂の有様である。

鋼板 警戒嚴なりしだけに一向に反落の模様もなく、4.5, 6.0 は猛騰した、目先需要は各方面共旺盛にして未だ相

當の期待を繋がれて居る。

外國爲替市中相場

區分\月日	Aug. 1	2	3	5	6	7	8	9	10
日	英 1/10-15/16	1/11-3/32	1/11-1/16	1/11-5/32	1/11-1/8	1/11-5/32			
日	米 46-3/8	46-1/16	46-5/8	46-13/16	46-3/4	46-13/16			
日	佛 11-70	"	"	"	"	"			
備考	日佛のみ正金建値。								

東京大阪市中相場

{東京 8月8日
大阪 8月5日

丸	鋼		等邊山形鋼		鋼		板		
	東京	大阪	m/m	m/m	東京	大阪	東京	大阪	
6m/m	9.80	9.80	9 × 75 × 75		9.30	9.50	1.6 × 3' × 6'	13.80	13.50
9	9.50	9.50	9 × 130 × 130		9.70	9.70	1.6 × 4 × 8	11.60	11.50
12	"	"	12 × 130 × 130		9.80	10.00	3.2 × 4 × 8	12.50	12.00
19	9.15	9.20	15 × 150 × 150		9.90	"	3.2 × 5 × 10	12.10	12.20
25	"	"					6.0 × 4 × 8	15.00	13.50
50	10.40	10.70	3/8" × 2' × 3'		10.10	9.50	6.0 × 5 × 10	13.50	"
65	10.00	"	3/8" × 3 × 4		9.40	"	9.0 × 4 × 8	11.20	11.30
			3/8" × 3 1/2 × 5		9.70	10.20	9.0 × 5 × 10	10.50	11.00
角	鋼		溝形鋼				薄鋼板(13枚)		
9m/m	10.60	10.00	3/8" × 4 × 6		"	9.80	米	70	69
12	10.50	10.20	1/2" × 4 × 6		9.80	9.60	英	69	68
15	"	"					八幡	68.5	67.5
19	"	10.80	1/4" × 2' × 4'		15.00	15.50			
33	10.40	10.00	0.312 × 2 1/2 × 5		11.20	11.00			
平	鋼		工形鋼				線材		
1/4" × 1 1/2"	9.70	9.40	3/8" × 3 × 6		"	"	鋼力板		
1/4 × 2	9.60	"	3/8" × 3 × 8		11.00	10.70	米 {170lbs	23.20	22.80
1/4 × 3	"	9.70	3/8" × 3 1/2 × 10		11.50	11.50	{100	12.70	12.50
3/8 × 4	9.80	10.20	3/8" × 3 1/2 × 12		13.50	13.50	英 {170	22.50	21.80
1/2 × 4	9.90	10.70					{100	12.10	11.70
			1/4" × 3' × 6'		9.60	9.30	八幡 {170	22.70	22.00
			3/8" × 6 × 12		12.00	12.50	{100	12.10	12.00
m/m			0.28 × 4 × 8		9.50	9.30			
6 × 50 × 50	9.60	10.20	0.35 × 5 × 12		12.50	12.00	線材		
6 × 65 × 65	9.30	9.30	0.36" × 5' × 10'		11.50	11.50	No. 5	100	95.00

備考 單位 100 疋につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和4年7月分契約高

品種	區分	官廳小計		民間小計		7月中合計			本年度累計		
		噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大中鋼	條	949	127,339	6,082	576,169	7,031	703,508	100.06	30,152	2,980,123	98.84
小鋼	條	2,445	248,143	4,227	405,490	6,672	653,633	97.97	22,639	2,270,605	100.90
重軌條及附屬品	條	506	70,926	2,454	283,513	2,960	354,439	119.74	27,009	2,667,115	98.74
輕軌條及附屬品	板	2,447	374,358	12,140	1,193,611	14,587	1,567,969	107.49	41,574	4,723,250	113.61
線材	材	1,153	124,503	827	80,172	1,980	204,675	103.37	138,708	14,027,513	101.13
黑板、硅素鋼板、鋼力板	材	582	64,838	1,549	144,036	2,131	208,874	98.02	7,043	726,658	103.17
車軸、外輪、鍛成品	材	7	784	3,673	352,908	3,680	353,692	96.11	16,062	1,557,187	96.95
工具鋼、特殊鋼	材	—	—	4,439	942,525	4,439	942,525	212.33	18,084	3,442,979	190.39
鋼材小計	計	2,236	599,297	187	28,673	2,423	627,970	259.17	3,480	882,550	253.59
短尺及屑鋼	計	—	—	118	21,771	118	21,771	184.50	303	65,710	216.86
鋼片、鋼塊、シートバー	計	14	4,531	—	—	14	4,531	32.64	599	56,641	94.76
以上合計	計	10,339	1,614,719	35,696	4,028,868	46,035	5,642,587	122.57	305,653	33,400,335	109.25
鋼材小計	計	258	20,647	6,659	521,422	6,917	542,071	78.37	19,049	1,376,573	72.23
鋼片、鋼塊、シートバー	計	10,597	1,635,368	42,355	4,550,290	52,952	6,185,658	116.83	324,702	34,776,904	107.10
以上合計	計	90	2,528	9,771	689,348	9,861	691,876	70.16	38,208	2,749,009	71.95
副製品	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
副製品	計	—	41,268	—	878,913	—	920,181	—	—	2,626,331	—

備考 官廳契約にして價格未決定の爲今迄計上せざりし分を今月分に於て計上せり

昭和4年6月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累計
條及竿鐵 <small>(丸、角及平形にして徑邊又は巾15m/mを超えざるもの)</small>	72	51	1,499	167	13	15	20	23			2	1,862	27,917
〃 (丸、角、平のもの其他)	238	343	1,847	407	126	103	109	89			3	3,265	30,668
〃 (テ-形及アングル形)	574	108	616	402					1			1,701	25,249
〃 (其 他)	694	734	4,759	795				387				7,369	35,190
レ - ル			1,552					239			3	1,794	17,115
フ イ ャ ッ ヲ、 プ レ ー ト			62					6				68	713
ワイヤ-ロッド <small>(巻きたるものにして徑5m/mを超えざるもの)</small>			38									38	42
〃 (巻きたるもの其他)	164	2,513	11,188	1,170	53	374	109	1,826			42	17,438	89,501
鋼 板 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚0.7m/mを超えざる鉄素鋼板)</small>	255		149			35	1	343				783	5,400
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚0.7m/mを超えざるもの其他)	4,016		2,149	38				791				6,994	43,640
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚3m/mを超えざるもの)	99	92	420	202	1		2	424				1,240	9,700
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	482	20	330	62	1			144	2		310	1,354	21,435
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	2,074		4	57				4,513			87	6,675	40,095
〃 (亜鉛鍍したるもの)	30		22					64	8		164	258	881
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	29		395	42	2			28			1,347	1,844	5,710
鐵 線	4		7	20			23	57			1	137	1,688
リ - ド、ワイヤ-												4	23
鐵 リ ボ ン	82	2	571	7			43	29				734	2,976
帶 (箍 鐵)	311	745	1,815	743				30				3,644	21,246
パ ラ ゴ ン、ワイヤ-			1				3					4	83
線 索	1		7					2				10	183
撚 合 線	1							3				4	57
バーブド、ツイスト、ワイヤ-													
鐵 筒 及 管	175	1,152	1,938	30			2	1,309			80	4,686	28,703
特 殊 鋼(稅表一)	12		7		41		14	8	10		18	110	753
〃 (稅表二)	17	4	2		23		27				4	77	419
鐵道車輛用車輪及車軸	51		108					17				176	306
鐵道車輛用タイヤ	81		162	311		108						692	1,178
鐵道車輛用スプリング													
合 計	9,402	5,764	29,651	4,483	260	634	353	10,332	21		2,061	62,961	410,689
フエロ、マンガニ-ス													766
フェニルコン及 シリコスピー-ゲルアイゼン											25	25	231
其他の不可鍛成鐵合金			15				7					22	178
シ-トバー(ラインバーを含む)	2	2,566	6,317	7,793		561		3,966			608	21,813	93,098
インゴツト、ブル-ム、 ヒレット及ストラツプ	4	175	6,947	205	24		4					7,359	22,837
ケツグスチ-ル及パンプスチ-ル							47					47	428
其他の塊及錠鐵							4					4	4
合 計	6	2,741	13,279	7,998	24	561	62	3,966			633	29,270	117,542
銑 鐵	456		49					1,016	10,641	37,835	5,530	55,527	368,235
屑 及 故 鐵	820		411					22,415	571	1,272	8,972	34,461	223,887